

トルコ

Republic of Turkey

	2008年	2009年	2010年
①人口:7,372万人(2010年末推計)			
②面積:77万4,815k㎡			
③1人当たりGDP:10,399米ドル (2010年,推定値)			
④実質GDP成長率(%)	0.9	△4.8	8.9
⑤貿易収支(米ドル)	△530億2,100万	△248億5,000万	△563億4,600万
⑥経常収支(米ドル)	△419億5,900万	△139億9,100万	△484億2,400万
⑦外貨準備高(米ドル)	704億2,810万	708億7,370万	807億1,300万
⑧対外債務残高(米ドル)	2,804億4,400万	2,687億6,400万	2,903億5,000万
⑨為替レート(1米ドルにつき, トルコ・リラ,期中平均)	1.3015	1.5500	1.5028

〔注〕⑤⑥:国際収支ベース
〔出所〕①②④:トルコ統計機構,③⑦⑨:IMF,⑤⑥⑧:トルコ中央銀行

トルコの2010年の実質GDP成長率は、世界的な金融危機の影響を脱し、政府目標の6.9%を上回る8.9%だった。1人当たりGDPは、再び1万ドルの台に乗った。しかし、民間投資、消費などをはじめとする内需主導の成長は、景気の過熱を導いており、輸入急増による経常赤字の拡大やインフレ傾向の高まりなどの懸念材料がみられる。日本企業のトルコで市場での販売強化の動きは活発化し、医療、食品、運輸、造船など、多分野で企業買収や現地法人設立の動きがあった。

■ 内需主導の高成長の中経常赤字が拡大

2010年の実質GDP成長率は、前年のマイナス4.8%から8.9%のプラス成長に転じた。需要項目別にみると、内需の寄与度が13.3ポイント、外需の寄与度がマイナス4.4ポイントであった。詳細をみると、総固定資本形成は、29.9%増となった。特に民間部門の機械・設備類への投資が43.0%増と大幅に伸びた。民間最終消費支出(6.6%増)の中で、2ケタ増は、運輸・通信(12.1%増)、耐久消費財を含む家庭用品(11.4%増)、衣料品(14.1%増)だった。外需では、財・サービス輸出の3.4%増に対し、輸入が20.7%増と大幅に増加した。

産業別では、最大シェアを有する製造業(構成比24.2%)が13.6%増、卸・小売業が13.3%増、運輸通信が10.5%増、建設が17.1%増と主要部門は軒並み2ケタの成長だった。

中銀によると、内需回復に伴い輸入が急増したことから貿易赤字が大幅に拡大、経常収支赤字は前年の3.5倍の484億2,400万ドルとなり、GDP比でも前年の2.2%から6.6%まで悪化した。資本収支は、前年の4.8倍となる428億3,200万ドルの流入に急増した。このうち対内直接投資(ネット)は前年比7.8%増の90億7,100万ドルにとどまった。一方、短期資本主体の証券投資(ネット)は、2億2,700万ドルから161億2,600万ドルの流入に急増しており、短期資本の過剰流入への懸念が再び高まった。中銀は、短期資本流入によるリラ上昇圧力を抑制するため、2011年に入り、政策金利を史上最低水準となる6.25%に引き下げる金融緩和策を実施、効果が出始めたとしている。

エルドアン政権は、金融危機による経済停滞からの早

期回復だけではなく、内政面では、文民統制の強化となる憲法改正の国民投票(2010年9月)を成功裏に乗り切り、11年6月の総選挙でも圧勝した。しかしEU加盟交渉は進展せず、また経常収支赤字、高失業率(10.0%、2011年4月時点)、消費者物価上昇率の高進(2009年6.25%、2010年8.57%)など、政府が解決すべき課題は多く、政権3期目は、真価を問われる船出となった。

■ 貿易赤字は前年比84.5%の急増

トルコ統計機構(TUIK)によると、2010年の輸出は前年比11.5%増の1,139億3,000万ドル、輸入は31.6%増の1,854億9,300万ドルとなり、貿易赤字は84.5%増の715億6,300万ドルとなった。輸出入共に、金融危機前の08年の水準には達していないが、国内経済活動の活性化が中間財をはじめとする輸入増につながった。一方、リラ高/ユーロ安(通年で前年比7.5%高)は、トルコの輸出業者の競争力を低下させることになった。

輸出を品目別にみると、最大の構成比(12.1%)を占める自動車は前年比12.8%増となった。トルコ自動車工業会(OSD)によると、2010年の自動車の輸出台数は、20.0%増の76万3,670台(乗用車は13.0%増の43万9,999台)だった。ルノー(23万3,057台、4.8%増)、トファシュ(フィアット)(19万3,737台、15.1%増)、フォード(17万5,754台、36.9%増)、トヨタ(7万3,163台、5.9%増)、現代(4万2,249台、2.5倍)の上位5社で、94.0%を占めた。次いで一般機械、鉄鋼、電気機器、ニット衣類がいずれも2ケタ増となった。白物家電・部品協会(BEYSAD)によると、10年の白物家電の輸出は、台数ベースで9.0%増、生産(11.9%増)全体に占める輸出の割合は74.6%

表1 トルコの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル,%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2009年		2010年			2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
自動車	12,252	13,816	12.1	12.8	鉱物性燃料	29,905	38,489	20.7	28.7
一般機械	8,133	9,338	8.2	14.8	一般機械	17,132	21,242	11.5	24.0
鉄鋼	7,641	8,768	7.7	11.8	鉄鋼	11,352	16,115	8.7	42.0
ニット衣類	6,926	7,742	6.8	13.7	電気機器	12,243	14,637	7.9	19.6
電気機器	6,631	7,540	6.6	6.9	自動車	8,976	13,422	7.2	49.5
鉄鋼製品	4,545	4,858	4.3	8.0	プラスチック製品	6,944	9,730	5.2	40.1
ニットを除く衣類	4,295	4,639	4.1	15.0	医薬品	4,080	4,410	2.4	8.1
貴金属品	3,921	4,511	4.0	△ 36.8	有機化学品	3,342	4,400	2.4	31.7
鉱物性燃料	5,929	3,748	3.3	20.2	精密機器	2,833	3,437	1.9	21.3
プラスチック製品	3,094	3,717	3.3	20.2	綿・綿糸・綿布	2,099	3,386	1.8	61.3
合計	102,143	113,930	100.0	11.5	合計	140,928	185,493	100.0	31.6

〔注〕2010年は暫定値。

〔出所〕表2とも、トルコ統計機構(TUIK)。

表2 トルコの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル,%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2009年		2010年			2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
EU	47,013	52,670	46.2	12.0	EU	56,588	72,215	38.9	27.6
ドイツ	9,793	11,453	10.1	17.0	ロシア	19,450	21,592	11.6	11.0
英国	5,938	7,224	6.3	21.7	ドイツ	14,097	17,530	9.5	24.4
イタリア	5,889	6,508	5.7	10.5	中国	12,677	17,180	9.3	35.5
イラク	5,123	6,043	5.3	17.9	米国	8,576	12,318	6.6	43.6
フランス	6,211	6,038	5.3	△ 2.8	イタリア	7,673	10,203	5.5	33.0
ロシア	3,190	4,632	4.1	45.2	フランス	7,092	8,176	4.4	15.3
米国	3,241	3,769	3.3	16.3	イラン	3,406	7,645	4.1	124.5
スペイン	2,818	3,564	3.1	26.5	スペイン	3,777	4,840	2.6	28.1
アラブ首長国連邦	2,897	3,340	2.9	15.3	韓国	3,118	4,764	2.6	52.8
日本	233	272	0.2	16.9	日本	2,782	3,298	1.8	18.5
合計	102,143	113,930	100.0	11.5	合計	140,928	185,493	100.0	31.6

だった。

輸出を国・地域別にみると、最大の輸出先であるドイツ(17.0%増)、英国(21.7%増)、イタリア(10.5%増)が2ケタ増となったが、フランスは2.8%減、EU全体(構成比46.2%)では12.0%増だった。復興需要が旺盛で国境を接する対イラク輸出は、地の利を生かし17.9%増加し、前年5位から4位に順位を上げた。上位20カ国の中では、イラン(10位、50.3%増)、ロシア(6位、45.2%増)、中国(18位、41.2%増)が高い伸びをみせた。輸出地域を構成比で見ると、EUは02年の56.5%から46.2%に縮小、中東向けは9.6%から28.5%に拡大しており、輸出先は、新興国や近隣イスラム諸国を中心に、多様化が進んだ。近隣イスラム諸国との関係では、2011年4月、トルコ、イラン、アゼルバイジャンの外相が会談、地域協力拡大に向けた共同声明を発表した。また、トルコとイランは、両国にとって3ヵ所目となる道路輸送の通関を開始するなど、国際的に孤立するイランに対して、独自の外交政策を展開している。

2011年に入り、チュニジア、エジプトの長期政権が崩壊、リビアが内戦状態に陥るなど、北アフリカ地域の混乱により、同年第1四半期の同地域への輸出は、前年同期比20.5%減となった。

2010年の輸入は、内需が回復する状況下、国内での調達コストが高騰、原料や部品の輸入が拡大したため、構成比70.8%を占めた中間財が、前年比32.0%増となった。またリラ高の影響により輸入量が増え、資本財(構成比15.5%、34.3%増)、消費財(13.3%、28.2%増)も軒並み増加した。

輸入を品目別にみると、全体の20.7%を占めた鉱物性燃料が、国内経済の回復に伴うエネルギー需要の増加により28.7%増となった。鉄鋼(42.0%増)、自動車(49.5%増)などは伸び率が高かった。OSDによると、10年の輸入車の販売台数は、48.3%増の46万5,408台(乗用車は、45.4%増の35万4,150台)となり、販売台数の中で輸入車が占める割合は、過去10年間で最高の58.7%となった。

輸入相手国では、3位の中国からの輸入が35.5%増となり、増加額では最大であった。首位のロシアは、天然ガスを中心に11.0%増、2位のドイツは24.4%増、4位の米国は43.6%増と主要国は軒並み2ケタ増だった。イランは2.2倍と大幅に増加し7位となり、輸入面でも両国間の関係が深化している。

貿易赤字は依然深刻で、ロシア(4.3%増)、中国(34.7%増)、米国(60.2%増)の上位3カ国だけで貿易赤

字全体の 56.4%を占めた。

トルコは EU との関税同盟に加盟(1996 年)しており、また各国・地域と自由貿易協定(FTA)を締結してきた。2010 年から 2011 年上期の間に発効した FTA は、モンテネグロ(2010 年 1 月)、セルビア(2010 年 7 月)、チリ(2011 年 3 月)、ヨルダン(2011 年 3 月)の 4 件で、2011 年 4 月時点で、欧州諸国、近隣イスラム諸国など 14 カ国 1 地域 1 連合との間で FTA が発効している。また、2010 年 4 月からは韓国との交渉を開始している。

■エネルギー、金融部門への投資が好調

中銀発表の国際収支統計によると、2010 年のトルコへの対内直接投資のうち株式資本(グロス)は、前年比 4.4%増の 65 億 2,900 万ドルだった。

同年に投資を行った外資系企業数は 3,233 社(前年比 10.1%増)で、うち EU 企業が 1,311 社(6.3%減)だった。同年末にトルコで操業する外資系企業総数は 2 万 5,837 社(うち 1 万 3,550 社が EU 企業)になった。

投資金額を分野別にみると電気・ガス・水供給部門および金融部門のシェアが大きく、それぞれ 31.6%、25.0%だった。地域別では引き続き EU が圧倒的で 75.1%を占めた。発電分野の投資では、オーストリアのエネルギー会社 OMV が、黒海沿岸の都市サムソンのガス火力発電所建設を開始(6 億ユーロ)した。また OMV は、石油販売会社 ペトル・オフィシの株式 54.17%をドアン・グループから 10 億ユーロで買収(総持株比率は 95.75%)した。その他エネルギー分野では、コチ財閥との提携契約を締結した米国のエネルギー会社 AES などによる M&A 案件が主体となった。またフランスの産業用ガスおよび関連サービス供給会社エアリキードは、3,500 万ユーロを投じて、アンカラに液体酸素と液体窒素の製造施設を建設すると発表した。

製造業の自動車関連分野は回復基調にある。OSD によると、2010 年の自動車の生産台数は、前年比 25.9%増の 109 万 4,557 台(乗用車は 18.1%増の 60 万 3,394 台、商用車は 36.9%増の 49 万 1,163 台)と、2007 年(109 万 9,413 台)とほぼ同数にまで回復した。メーカー別では、トファッシュが 31 万 2,245 台(23.4%増)で首位、次いでルノー(30 万 7,083 台、10.6%増)、フォード(24 万 2,070 台、39.6%増)と続いた。日本メーカーは、トヨタが 8 万 3,286 台(15.3%増)で 4 位、ホンダが 2 万 305 台(11.2%増)で 8 位だった。新型モデル導入を含む投資は、メルセデス・ベンツ、現代、トファッシュ、フォードなどで行われ、ルノーは電気自動車の生産を開始した。また中国の奇瑞、東風、一汽海馬は、生産投資に向けた動きが、メディアなどで報じられた。鉄鋼関連では、韓国のポスコがブルサ工場(自

表 3 トルコの業種別対内直接投資<国際収支ベース>

	(単位:100 万ドル, %)			
	2009 年	2010 年		
	金額	金額	構成比	伸び率
工業	3,780	3,126	47.9	△ 17.3
鉱業	89	196	3.0	120.2
製造業	1,565	867	13.3	△ 44.6
電気機器・精密機器	59	167	2.6	183.1
基礎金属	31	160	2.5	416.1
食品・飲料・たばこ	196	149	2.3	△ 24.0
化学品	336	102	1.6	△ 69.6
繊維	77	82	1.3	6.5
電力、ガス、水供給	2,126	2,063	31.6	△ 3.0
サービス	2,423	3,320	50.9	37.0
金融関連	666	1,630	25.0	144.7
貿易・商業	389	389	6.0	0.0
不動産・リースサービス	560	368	5.6	△ 34.3
建設	208	365	5.6	75.5
運輸・通信	391	210	3.2	△ 46.3
小計(株式資本分)*	6,252	6,529	100.0	4.4
対内直接投資総計**	8,411	9,071		7.8

[注] *グロス、**ネット。

[出所] 表 4 と同、トルコ中央銀行。

表 4 トルコの国・地域別対内直接投資<国際収支ベース>

	(単位:100 万ドル, %)			
	2009 年	2010 年		
	金額	金額	構成比	伸び率
EU	4,928	4,910	75.1	△ 0.4
オーストリア	1,019	1,798	27.5	76.4
フランス	617	600	9.2	△ 2.8
ドイツ	498	598	9.1	20.1
オランダ	718	498	7.6	△ 30.6
ギリシャ	59	425	6.5	620.3
ルクセンブルク	493	280	4.3	△ 43.2
英国	350	240	3.7	△ 31.4
スペイン	145	190	2.9	31.0
日本	3	347	5.3	11,466.7
米国	260	320	4.9	23.1
スイス	163	117	1.8	△ 28.2
クウェート	73	168	2.6	130.1
アラブ首長国連邦	6	104	1.6	1,633.3
小計(株式資本分)*	6,252	6,536	100.0	4.5
対内直接投資総計**	8,411	9,071		7.8

[注 1] *グロス、**ネット。

[注 2] 2010 年の小計は、表 3 と異なる。

動車用平鋼生産)を完成させ、次いでコジャエリにも 3 億 5,000 万ドルの投資を行う。また、フォクスコン・テクノロジー(台湾)とヒューレット・パッカド(米)が北西部チョルルでデスクトップパソコンの生産を開始した。

金融分野では、スペイン 2 位の銀行、バンコ・ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア(BBVA)によるガランティ銀行株式取得が最大で、BBVA は GE(米)から 18.6%、ドウシュ・グループ(トルコ)から 6.3%を総額 58 億 3,780 万ドルで取得した。また、日本の損保ジャパンがフィバシゴルタ(損害保険 11 位)の株式 99.07%を約 274 億円で取得し、子会社化した。その他サービス分野では、オランダのコリオやドイツのユニオン・インベストなどによるショッピングモール投資が好調だった。

2010 年の民営化案件は、16 件実施されており、売却総

額は30億8,400万ドル(前年比23.3%増)だった。このうちの23億5,200万ドルが、配電部門(5件)の民営化によるもので、前年と同様にエネルギー分野が大宗を占めた。また、黒海のサムスン、マルマラ海のバンドゥルマ、東地中海のイスケンデルンの港湾施設も民営化された。

■海外での受注を伸ばすトルコの建設企業

中銀によると、10年の対外直接投資額(株式資本のみ、グロス)は、前年比10.6%減の18億2,300万ドルだった。最大の投資先はオランダで、6億9,900万ドル(構成比38.3%)、次いでアゼルバイジャン(2億1,700万ドル、11.9%)、バーレーン(1億1,600万ドル、6.4%)、ロシア、ドイツ、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、米国、ルクセンブルク、スイスが続いた。

トルコ・コントラクター連盟によると、トルコの建設企業は、海外での受注を伸ばしており、2010年に48カ国、517件、約203億ドルに相当する海外プロジェクトを受注した。分野別では道路・橋梁・トンネルが全体の12.6%、住宅が12.4%を占めた。国別ではトルクメニスタンが42億5,205万ドルで首位、次いでリビア(24億6,047万ドル)、イラク(21億9,189万ドル)、ロシア(16億9,448万ドル)、イラン(11億1,177万ドル)が続いた。

■日本企業によるトルコ市場開拓本格化

日本の財務省貿易統計(通関ベース)をドル換算すると、2010年の日本からの輸出は前年比59.7%増の25億5,060万ドル、輸入は0.2%減の3億9,860万ドルだった。日本の出超額は、前年の11億9,800万ドルから21億5,200万ドルに拡大した。

トルコへの輸出を品目別にみると、2010年は貨物船輸出の増加(2億3,550万ドル)などにより、輸送機器が最大のシェア(40.6%)を占めた。ガソリンエンジンの乗用車は、1500~3000ccが2.3倍、1000~1500ccが57.3%増となり、

ディーゼル乗用車(1500cc以下)が3.3倍、その他貨物自動車(ディーゼル、5トン以下)も13.9倍と好調だった。一般機械では、建設需要の回復に伴いメカニカルショベルが前年の6.3倍、フロントエンド型ショベルローダーが4倍と伸ばした。また09年に発電所用ガスタービン(出力5000kW超)の輸出が増加したことで、10年は関連部品が倍増した。

トルコからは魚介類を主体とした食料品、繊維製品、機械機器などが輸入されているが、2010年は、魚介類の冷凍フィレ(前年比71.2%減)、冷蔵くろまぐろ(59.6%減)の輸入が激減した。一方で、パスタが23.0%増、たばこが21.5%増、トマト・ピューレ類が2.9%増となった。乾燥果実類では、干しぶどう(8.8%減)、干しいちじく(0.2%減)は減少したが、ハーゼルナッツは20.7%増だった。またバージン・オリーブ油は26.9%増と回復した。

繊維製品では絨毯類が50.2%増となったほか、男子用綿ズボン(2.1倍)、Tシャツ(28.4%増)、女子用綿ズボン(20.4%)が伸びており、革製衣類(12.2%増)も好調だった。機械機器ではエンジンなどが増加傾向にあった。また天然ホウ酸(69.0%増)、ホウ酸(4.4倍)が増加したほか、ステンレス原料のフェクロクロムが、急増(17.3倍)した。

日系企業関連の動きとして、前述の損保ジャパン以外にも、トルコ市場での販売強化に向けた動き、2010年から2011年上半年にかけてみられる。医療分野ではテルモが駐在員事務所を設立(10年上期)、富士フィルムは、欧州現地法人を通じて、同社の内視鏡を取り扱っていた現地輸入販売代理店を買収(11年2月)した。味の素は、販売法人の設立を決定(11年6月)、日本通運(10年9月発表)と三菱樹脂(11年6月)は、駐在員事務所を現地法人化した。また、造船分野ではIHIマリンが需要の高まりを受け、メンテナンスのサポートサービスを提供する支店を開設(11年5月)、製造業分野では前川製作所が工場設立に向けた準備を開始した。

表5 日本の対トルコ主要品目別輸出入<通関ベース>

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2009年		2010年		2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械機器	1,085.9	1,975.2	77.4	81.9	166.9	100.1	25.1	△ 40.0
一般機械	447.8	699.4	27.4	56.2	81.3	23.4	5.9	△ 71.2
メカニカルショベル等(上部構造が360度回転するもの)	18.6	116.6	4.6	526.6	17.1	17.6	4.4	2.9
輸送機器	353.7	1,034.6	40.6	192.5	10.0	12.2	3.0	21.5
その他の貨物船・貨客船	n.a.	235.5	9.2	n.a.	9.4	11.5	2.9	23.0
乗用車(ガソリンエンジン, 1500cc超 3000cc以下)	82.2	189.0	7.4	130.0	187.5	238.1	59.7	27.0
乗用車(ディーゼルエンジン, 1500cc以下)	53.7	179.2	7.0	233.4	82.5	102.3	25.7	24.0
電気機器	211.5	157.5	6.2	△ 25.6	8.5	12.8	3.2	50.2
精密機器	72.8	83.7	3.3	14.9	58.8	68.1	17.1	16.0
化学品	205.8	185.9	7.3	△ 9.7	15.1	32.2	8.1	112.7
プラスチック製品	127.6	95.5	3.7	△ 25.1	31.8	53.1	13.3	67.3
金属品	101.6	132.4	5.2	30.4	7.9	13.4	3.4	69.0
鉄鋼	52.0	79.4	3.1	52.9	0.6	10.4	2.6	1,685.1
合計	1,597.4	2,550.6	100.0	59.7	399.5	398.6	100.0	△ 0.2

[出所] 財務省「貿易統計(通関ベース)」をドル換算。